

THE AMAZING WORLD OF ANIMALS

SHARE
THE WORLD

part 1/動物たちのビックリ真実

動物たちができることや行動を知れば知るほど、動物たちがいかに高度ですばらしい生き物かが分かります。みなさんがビックリするような動物たちの真実を教えてください。

✓ **イルカ** は海で船が沈んでしまったときに生存者をおぼれないようにしたりサメから助けて何キロも運んだりします。

✓ **ビーバー** は、高度な社会をもち、家・仮宿・食料倉庫もあります。

✓ **ジャコウウシや牛** はキケンを感じたり天気がひどくなると子供のまわりを囲います。

✓ **ゾウ** はお絵かきが好きといます。ブラシや小枝をお鼻で持ってお絵かきします。



✓ **オランウータン** はすみかの上にやねをつけたり、大きな葉っぱをカサとして使ったりします。

✓ **ズグロアメリカムシクイ** はカナダから南アメリカに行って正しく元の場所に帰ってこられます。

✓ **コウテイペンギン** のオスは南極のさむいなか、2カ月も食べ物なしで卵を温め、守ります。

✓ **電気ウナギ** などは、電気信号を使って、お互いに伝えています。

part 2/動物 IQ テスト

さて、みんなの動物 IQ をはかってみましょう。正しいと思ったらYes、まちがっていると思ったらNo、分からなかったら "?" をえらんでください。

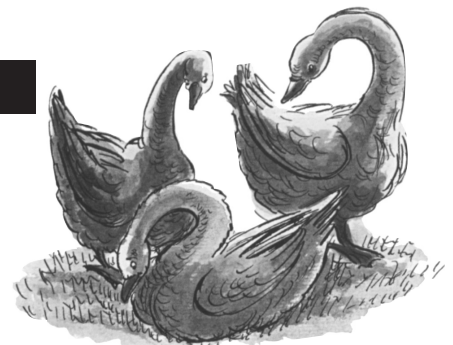
- クジラ の鳴き声はとても強く、アラスカから呼ぶ仲間の声が南極でも聞こえる。
- カラス は、南フランスと北フランスでちがう方言を話す。
- わたり鳥の **ガン** は1匹がケガをしてはなれると仲間も付きそい、治るか死ぬまで待つ。
- シカ は目が見えなくなった仲間のガイドをしてあげるといわれる。
- ゾウ は仲間の死をなげき、悲しみのなみだを流す。
- オグロプレーリードッグ は、キスをして仲間のメンバーかをチェックする。
- チンパンジー はケンカのあとに、勝った方が肩に手をまわしたり毛づくろいしてなぐさめることがある。
- 鳥 のなかには、泥と植物で折れた骨を固定して治す。
- 犬やブタ が人間の子供をすくったケースがこれまでに何千件もある。



Y	N	?
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐

part 3/動物プロジェクト

動物と話すことはできませんが、動物たちが何を考え感じているのか想像できます。動物を1つえらび、自然のなかでどのようなところに住んでいるかしらべてみましょう。そして、すみかがきけんになっていることを、手紙にしてほうこくしてください。



ANIMALS AND THEIR FEELINGS

わたしたちは、いくつかの動物を仲間だと思っています。それ以外はキケンか、ほとんど考えることもありません。しかし、すべての動物、家族の犬も小さいネズミも、わたしたちと同じ感情のある生き物です。共感を得ることで動物のことをよくわかるようになります。

動物への共感が表されている小説として、アンナ・シュエルの『黒馬物語』があります。次の一節では、馬のジンジャーが別のブラックビューティーに人間とのことを話します。作者が馬に対してどのように共感を示しているかを考えてみましょう。

わたしたちの飼い主が気づかいのことばをかけてくれたことはなかったわ。ひどい扱いだったとはいわないけど、わたしたちに十分な食べ物があって、冬に寒さをしのげる小屋があることしか気にしていなかった。近くを通る子供はわたしたちによく石を投げてきたの。走りまわらせるためにね。わたしは当たらなかったけど、子馬が顔をひどく切ったことも。あの子供たちはわたしたちの敵だと思っていたた。

草地を自由に走り回って楽しかったわ。みんなで追いかけて、追いかけて。でも調教のときはひどかった。男が数人やってきて、はなをひっぱられる。とてもきつくて、息をできなかった。つなをつけられ、口にバーをつけられた。つなを引っ張られ、ムチを打たれる。それがわたしの人間の思いやりについて初めて分かったことね。

わたしは生きたいと思ってた。小屋に閉じ込められたままで、自由がない毎日なんてひどい。いつか自由にならないかって、悩み、ねがっていたわ。



part 1

この文章でわかるように、動物の感情を理解するためには「共感」が大切です。次のそれぞれの状況で、動物たちがどのように感じているのか考え、記述してください。

1. とても寒い日の夜に、あたたかい家のなかにいれられたら犬はどう感じる？

2. あつい日に、子供を乗せられて同じところをぐるぐると歩かされるポニーはどう感じる？

3. まだ小さな子牛が、お母さんから引きはなされたらどう感じる？

part 2

さらにイメージーションを広げてみましょう。自分がある動物だと想像してください。「もし3つのねがいごと」がかなえられるとしたら、どういうおねがいをするかまとめましょう。それができたら、クラスのみんなと話し合しましょう。

Changing Times, Changing Minds

SHARE
THE WORLD

これまで人間は動物たちを利用してきました
自分たちの利益のためだけに

動物たちも恐怖、痛み、よろこびを感じることを忘れがちです。ところが、わたしたちは学んできているのです。

part 1

もし新聞が太古の昔からあったら、このように伝えられてきたでしょう。これらはどれもよい変化です。動物利用を減らすのにどう役立ったか考えてみましょう。



研究者、コンピューターモデルに
飛びつく

CIRCA 1980s: _____

ベジバーガーが
ファーストフードに
新風

CIRCA 1990s: _____



亜麻布が人気！
オシャレな
ファラオに

CIRCA 4,000 B.C.: _____

穴居人、道具を
骨から石に
切り替える

CIRCA 70,000 B.C.: _____

ランプのオイルが
変わった
クジラから石油へ

CIRCA 1860s: _____

「馬なし馬車」
が
歴史をきざむ

CIRCA 1903: _____

ファッション界
暖かくフレンド
リーなフェイク
ファーを利用

CIRCA 1960s: _____



part 2

このようにアニマル・フレンドリーな方法が出てきていても、まだ動物は人間に利用され続けています。次のものに代わるアニマル・フレンドリーな方法を考えて書いてください。

1.

生物の実験で
カエルを解剖する

2.

ゾウのきばや、カメの
こうらを使って、
ピアノのけんばんや
宝石を作る

3.

食べるために動物を
育てて殺す

4.

羽、毛皮、革のため
に動物を殺す

MAKING HUMANE CHOICES

わたしたちは自分の生き方を変えられます。動物を大切に扱うようにできます。まわりのみんなを変えることもできます。人と動物の間にも、人と人の黄金ルールが当てはまることを忘れてはいけません。

～ あなたが人にしてもらいたいことを、あなたも人にしてあげなさい ～

次の状況は黄金ルールが守られてないケースです。(a)どこがおかしいのかと、(b) なにを変えたらよいのかを書いてください。

1. 近くの動物園やサーカスで、とても暑い日に、日かげもないなかで、クマが当てもなくグルグルとまわっている。

(a) どこが黄金ルールをみたしていないのでしょうか？

(b) これをどうしたいですか？

2. 人通りの多い歩道に羽をケガした鳥が落ちてきて、人がみんな早足でさけるように通り過ぎていく。

(a) どこが黄金ルールをみたしていないのでしょうか？

(b) これをどうしたいですか？

3. ある日、学校の行きも帰りも、短いくさりにつながれた犬がいた。まわりに水も食べ物もない。

(a) どこが黄金ルールをみたしていないのでしょうか？

(b) これをどうしたいですか？



4. 仲よしの友達が川岸からカメを引き上げてしまった。

(a) どこが黄金ルールをみたしていないのでしょうか？

(b) これをどうしたいですか？

5. 気づいたら、飼っている犬や猫がトイレに行きたいと言っていた。

(a) どこが黄金ルールをみたしていないのでしょうか？

(b) これをどうしたいですか？

